

## Information

◆作品づくりのワンポイント  
着色用の塗料は乾く前に別の色が加わると混ざってしまいますが、この性質を利用してグラデーションで複雑な色合いを作ることもできます。

◆白く塗りたいときは？  
ステンドホビーに「白色」はありませんが、「水溶性つや消しニス」を使うと光を透過する白色系に上げることができます。

◆ふちどり用の買い足しができます  
2019年春より、ふちどり用の単品が購入できるようになりました。  
同時に「ふちどり用ゴールド」が単品専用に追加され、従来とはイメージが違う作品も楽しめるようになりました。  
光と影のコントラストが美しい「くろ」と、華やかな作品に仕上がる「ゴールド」で、作品の幅が広がります。



## 作品例



# ◆◆◆◆ 使用方法 ◆◆◆◆

注意書をよく読んでから使用してください。

## はじめに

- ①ペン先を外し、中栓を取ります。  
(中栓は保管してください)
- ②ペン先をチューブにはめます。

## 描く

「ふちどり用」で線を描いてから、色を入れて描くとスタンドグラス風に仕上がります。線が途切れないように、また低くなりすぎないように描くのが上手く仕上げるコツです。

## 1. 塗る面のホコリや油分などの汚れを取る

## 2. 下絵を描く

ペットボトルや不透明なもの(タイルなど)には、水性ペンで直接下絵を描きます。透明で平らなもの(アクリル板など)に描くときは、同じ大きさの紙に下絵を描きます。

## 3. ふちどり用で線を描き、よく乾燥させる(30分以上)

線同士がつながっていない場合や、ふち取りの厚みが足りない場合は、色を流し込んだときに混ざってしまうことがあります。

\*チューブを強く押すと、飛び散る場合がありますので注意してください。

ふちどり用は指の力の入れ方によって太さを調節でき、太く描くと乾燥に時間がかかります。早く乾燥させたい場合はドライヤーを使います。ドライヤーは近づけすぎずに、左右に振りながら乾燥させます。



## 4. 色を入れる

色が流れないように、色を入れる部分を水平にします。チューブを指で少しずつ押しして適量を落とし、チューブを筆のように使うか、先端の丸い部分を使って塗り広げます。ペットボトルなど平らでないものは、色を入れる部分を水平に保ちながら、少しずつ塗り広げます。

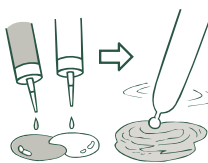
\*となりあった部分に続けて色を入れると、色が流れて混ざり合うことがあります。



アワができてしまったら、つまようじなどで乾く前につついて消します

## 色を作って入れる〈混色の仕方〉

添付のカップの中から、色を入れる部分の上(ふち取りの中に2色以上の色を適量落とし、チューブの先端の丸い部分で混ぜ合わせます。「ふちどり用」と「着色用」を混ぜ合わせることはできません。



作った色を、チューブの先端の丸い部分で、色を入れる部分に塗り広げます。混ぜ方によって微妙な中間色や濃淡の変化を楽しめます。

色を淡くしたいときは、透明か「水溶性つやだしニス」を混ぜてください。

## 5. 乾燥させる(30分以上)

直射日光を避け、色を入れた部分を水平にして乾かします。

## 6. 場合によって、4～5を繰り返して仕上げる

\*塗料が乾く前なら、水溶性ニス専用うすめ液(または水)で薄らせた、綿棒やティッシュペーパーなどで拭き取ることができます。

## 使い終わったら

- ①ペン先を静かに外し、中栓をチューブにしっかり差し込みます。
- ②ペン先に残った塗料をよく落とします。
- ③ペン先をチューブにはめ、キャップをしめます。
- ④容器を立てた状態で保管します。

## 次回使うときは

- ①ペン先を外し、チューブから中栓を抜きます。
  - ②ペン先をチューブにはめます。
- 描き方はこのほかさまざまです。あなたのアイデアをいかして、オリジナル作品づくりを楽しんでください。



# ◆◆◆◆ ご注意 ◆◆◆◆

## 【取扱上の注意】

- ①この塗料は、定められた用途以外には使用しないでください。
- ②火気のあるところでは塗らないでください。
- ③乾燥時間は、温度・湿度・塗布量などの条件によって変わります。
- ④汚れてもよい服装で塗装してください。
- ⑤手や用具についた塗料は、そのつどすぐに石けんで洗い流してください。
- ⑥表面が乾いても、すぐにものを置かないでください。くっつく場合があります。

## 【応急処置】

- ①皮膚に付着した場合には、多量の石けんで洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診察を受けてください。
- ②目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ③誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。

## 【貯蔵保管上の注意】

- ①誤飲、誤食をしないよう、子供の手の届かないところで保管してください。
- ②残った塗料は、密封・密栓をした上、容器を立てた状態で保管してください。
- ③5～40℃の直射日光の当たらないところに保管してください。

## 【廃棄時の注意】

- ①容器は塗料を使い切ったから廃棄してください。
- ②容器や塗料を、河川や下水道などへそのまま捨てないでください。
- ③やむを得ず塗料を捨てるときは、火気のない屋外で新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分してください。

## 【その他の注意事項】

- ①塗装以外の用途には使用しないでください。
- ②塗装する素材によっては、密着しない場合があります。(ポリプロピレンなど)